

東北次世代がんプロ養成プラン セミナー実施報告書

(セミナー名称)	
東北大学大学院医学系研究科がん看護学分野主催 10月がん看護勉強会	
事例報告者 : 富澤 あゆみ	
所属 : 東北大学大学院がん看護学分野	
テーマ : MD Anderson Cancer Center 視察報告 外来から見る多職種チーム医療	
担当者氏名 : 佐藤 富美子 教授	所属 : 東北大学大学院がん看護学分野
内線 : 7926	Email: fsato@med.tohoku.ac.jp
1. 実施年月日 :	
令和 元年 10月 21日	
2. 開催場所 :	
東北大学医学部保健学科D棟 217号室 がん看護学分野カンファレンス室	
3. 関連分野 :	
がん看護、チーム医療、外来看護	
4. 対象者 :	
がん看護に興味関心のある医療関係者・大学教員・東北大学大学院医学系研究科保健学専攻学生・東北大学医学部保健学科学生	
5. 参加人数 : (お分かりの範囲で内訳をお知らせください。教員、学生など)	
大学教員 4名、大学院生 4名、学部学生 1名(看護学科 1名)、看護師 1名 計 10名	
6. 成果 :	
<p>今回の視察報告は、Japan Team Oncology Program:J-TOP のメンバーとして、5週間に渡る MD アンダーソン研修を受講したがん看護専門看護師による報告を元に、本邦における課題を検討した。</p> <p>J-TOP とは、MD アンダーソンがんセンターの先進的かつシステムチックながん治療の修学的アプローチの教育を日本に行う組織である。組織目的は、チームオンコロジーの普及と患者ががんのチーム医療の参加者の中心になるための支援を行うことである。</p> <p>MD アンダーソン看護部の教育は、全職員のうち修士以上の学力があり、専門資格を取得した Advanced Practice Nurse が 70%を占める。患者を取り巻く看護チームは、Nurse Practitioner や Clinical Nurse Specialist が担う専門的知識を有した看護師や、病棟ケアを担当する Register Nurse、Charge Nurse など多くの看護師が一人の患者をとりまき、看護の質が担保されている。その背景には、厳守された勤務時間や専門資格や学歴に応じた給与が支給されていることが一部の要因として考えられる。</p> <p>外来は、各診療科によってもチーム医療体制は異なるが、Nurse Specialist や Clinical Nurse Specialist がオピオイド処方権を持ち、診察及び処方を行っている。医師は、異常時に報告を受け、診察を行っている。治療方針の決定の際は、医師・看護師・薬剤師・アドボケーターから組織されるチームで、治療方針を検討し、その後患者へ告知される。患者は告知後に、看護師と面接を行い、薬剤師から薬理的説明を受け、選択に関する情報を得る。その後の決定時には、チーム全員で約 2 時間にわたる面談を行い、治療方針が決定される。このような、専門性が高い看護をうけ、かつチームで患者と治療を行っているセンターで治療を受けた患者満足度はとても高かった。</p> <p>以上の報告をもとに本邦の課題には、専門性の高い看護師によるケアの質評価が十分ではなく、給与への反映や社会的地位の確立が十分になされていない点があげられた。実現のためには看護ケアの効果を研究で明らかにすること、さらには専門性を高める看護師が増加する組織の基盤づくりの重要性を検討した。</p>	

【当日の会場の様子などの写真がございましたら、添付ください】

